

令和6年度第4回学校運営協議会 議事録

❖ 日時 令和6年12月4日(水) 14:30~15:45

❖ 場所 湖南高等学校 図書館

❖ 参加者

委員(敬称略・順不同)

桑名 秀一郎、和田 祐樹、渡部 智子、薄 良枝、西脇 恵美、本田 康浩

(欠席:佐藤 宗良、石田 慶仁、大内 紀男、矢島 敦、佐藤 忠男、宗像)

事務局

野口 智行、菊池 由喜男、会田 房男、森 修、佐藤 修一、久住 貴紀

(欠席:五十嵐 稜、渡部 実和子)

❖ 内容

1 開会のことば 菊池教頭

2 会長あいさつ(会長欠席のため副会長の薄 良枝 様より)

会長、体調不良により欠席ということで、本日代理を務めさせていただきます。不慣れではございますが、よろしくお願いいたします。

3 校長あいさつ

本日はお忙しいところご参集いただきありがとうございます。まずは先日の本校の報道について報告と状況説明をさせていただきます。本校で、本来BCCで配信するはずであったメールをCCで送信する誤配信があり、11月8日に新聞、メディア等で報道されました。その後、問い合わせや、そのメールアドレスを使用したトラブルなどは生じておりませんが、日頃、生徒、教職員ともに常に一生懸命取り組んでおります。今後、そのような良い部分で校名を出していただけるような取り組みを進めて参りますので、今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。

続いて3年生の進路状況について、就職希望14名全員の内定が決まりました。委員の皆様には面接指導等、ご協力いただきありがとうございました。自衛隊の生徒についても合格の連絡が来ました。進学に残り2名もしっかり取り組み、最終的に進路希望達成100%ということで卒業に向けて取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

続いて、10月31日、本校会場で道徳教育推進協議会を実施しました。郡山・県南地区

管内の小中高より60数名の先生方に来校いただき、本校の取り組みを見ていただきました。後ほど資料を用いてご説明させていただきますが、本当に高い評価と温かい感想をいただいております。また、未定の話ではございますが、ご指導いただいた講師の先生方から、本校の取り組みをぜひ全国に紹介してほしいとお話をいただいております。また、未定な部分がありますが、本校の先生方が生徒の心の育成に一生懸命に取り組んでいただいていることを紹介させていただきます。

それでは本日の協議会、皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

4 学校からの報告事項

(1) 第3回学校運営協議会議事録 p2～6

(2) コミュニティ・スクールとしての取組 p7～17

和田氏 学校ホームページの内容を楽しく拝見しております。先生方が一生懸命ブログを書いて掲載されており、とても大切な財産だと思いますが、一方でどれぐらいの小中学校の先生方が各校で見ているかということ、それほど見られてはいないと感じる。特に湖南高校の場合、ここ数年で外部との繋がりが増え、今回の道徳教育の公開、三菱みらい育成財団のお話など、活躍が目覚ましい部分が多い。そういったものを小中学校の先生方により知ってもらうことは大切。湖南高校の取り組みをA4一枚の箇条書き程度でいいので、簡単にまとめたものを中学校の先生方にお配りし、生徒に見せてもらえば、「こんな学校だったら行きたい」と思えるきっかけになるのではと思う。

薄氏 確かに次に続く取り組みは大切。思いつきだが、この協議会のメンバーに小中学校のほうからどうにか来てもらうことはできないんですかね。

校長 資料の中にある「湖南高校だより」ですが、昨年度までは町内、全校配付、本校に来ている生徒の出身中学校に3部ずつ配布していた。中学校の先生方から、「本校も欲しい」というご意見をいただき、今年は市内の中学校すべてに3部ずつ配布している。どのくらい見ていただいているのか状況も確認していきたい。また、新たな配付方法や周知方法がございましたらご意見いただきたい。

(3) 「湖南雪灯籠まつり」の準備状況について p17

すべて生徒に任せている状態だが、進捗状況はほぼ進んでいない。じっくり見守っていきたい。日程は2月7日(金)に準備とイベントをすべて実施予定。昨年度よりも準

備時間が短い、それも踏まえて委員に計画を進めてもらっている。

《日程案》 9:00~12:00準備→昼食→13:00~15:30準備
→15:30~16:30休憩・最終調整→16:30開会式、点火、販売→
19:00終了を予定

城北埼玉の1・2年が50名+教職員、瀬戸田高校の教職員2名来校予定。

引き続き高校生主体で進めていきたいと思えます。何かご意見等あれば、委員に伝えますので、よろしくお願いいたします。

薄氏 地域としてもできることがあれば手伝ってきたい。

(4) その他

ア 道徳教育推進協議会感想（別冊参照） 校長より

高等学校には教科としての道徳はない。他の学校ではHRの時間を使って道徳教育を実践しているが、本校は生徒指導含めて、すべての授業で自己肯定感を高める授業に取り組んでいる。別冊にあるように、小中学校の先生方から様々な感想をいただいた。

イ 三菱みらい育成財団アンケート（別冊） 校長より

薄氏 子どもたちの自己肯定感が低いというのは謙虚でもあって、個人ではできないけど、グループでできるというのはチームプレーができるということなので、そういった捉え方で子どもたちには自信をつけてもらえればと思います。

和田氏 湖南高校はインプットをしっかり実施している学校だと思う。その分、発表等のアウトプットが弱くなるのは当然のこと。全国的な学校の特徴としては探求＝発表が8割以上。そのため、自ずとその力は伸びるが、外部の我々がその発表を聴いていると、当事者意識のない発表が多い。実際の課題の掘り下げレベルを言うと、ほんとの地域の課題に寄り添っているというよりは、世間一般の課題を述べているレベル。湖南高校はそういったテンプレートではなく特色ある活動ができています。アウトプットに繋がっていないというのは、生徒たちがかもともと持っているものに先生方が寄り添っている結果だと思う。決して恥じることなく続けて行ってほしい。また、「学習環境」の部分は先生方の在り方が現れる。先生方は個人事業主の集まりのような形だと思っている。個人の先生方の能力や主義信条に左右される部分が多々ある中で、これだけ湖南高校の先生方が生徒に向き合って、生徒たちが納得できる学習環境を作ってらっしゃるといのは、今いる先生方やこれまでの湖南高校の先生方の努力の賜物だと感じる。これが徐々に生徒たちに伝わって、他の部分も上がっていくはずだと

思っているので、このまま良い形を作っただけであればと思っている。同時にコミュニティ・スクールの委員としてこの場に座っているが、地域としては学校の何を手伝っていいかわからないので、「困っています」と言ってほしい。逆に地域も困っていることを言わないと高校生たちに協力してもらえない。地域が解決できないことも多いと思うが、先生方の困っていることもどんどん言ってほしい。そうしてお互いに協力できる部分が増えていくのかなと思う。

薄氏 湖南には問題点が多いからこそ、協力する意義があり、その問題点こそ学校と一緒にできることである。「子どもが少ない」「地域のものを残したい」といった課題から始まって今があると思う。地域からも学校からも何か困っていることがあればお互いに共有しあってやっていけたらと思う。

5 協議

(1) 「地域みらい留学」に関する経過説明及び意見交換（別紙） 校長より説明

(2) 湖南高校の魅力を生徒数確保に繋げるための取組について

和田氏 市からの情報 → この4月にハーモニー湖南（旧三代小学校）という福祉事業者が撤退することになり、施設が空いている状態（資料参照）。比較的新しく、現在の耐震基準にも適合している建物。福祉施設だったので、図面のとおり個室等々も完備されている。市として来年度は、敷地境界の確認と現時点での建物の資産評価をして予算取りをする。再来年度に売却もしくは賃借という形で出していく方針なのではという情報をいただいていた。この場でどうするという話ではないが、前回、寮について様々な課題が上がっていたので、議論の場に挙げてもいい情報なのではと判断した。

(3) その他

ア 学校評価アンケートの協力依頼について

イ 今後のCS関係の主な予定について

ウ 地域ボランティア活動等の主な予定について

エ キャッチコピーコンテストへの協力依頼について

5 閉会のことば

※諸連絡

次回、第5回 2月12日（水）

（15：45終了）